

日本心理学会「注意と認知」研究会 第11回合宿研究会プログラム

10
Sun.

受付	13:00-13:45	
認知的制御	14:00-14:30	1 標的位置確率の処理と選択的注意の関係 嘉幡 貴至・横山 武昌・野口 泰基・喜多 伸一 (神戸大学)
	14:30-15:00	2 左右視野に依拠した適合性頻度が大域・局所情報処理に及ぼす影響 蔵富 恵・吉崎 一人 (愛知淑徳大学)
	15:00-15:30	3 認知的制御における意識的気づきの役割: 一過性制御変調と持続性制御変調の比較 長谷川 国大・高橋 晋也 (名古屋大学)
認知競合	15:45-16:15	4 共同サイモン効果における反応試行の相補性 西村 聡生 (上智大学)・横澤 一彦 (東京大学)
	16:15-16:45	5 共同作業事態が刺激-反応競合課題の遂行に及ぼす影響 木村 ゆみ・吉崎 一人 (愛知淑徳大学)
	16:45-17:15	6 先行刺激と行為の目的, 反応が後続刺激の知覚に与える影響 光松 秀倫 (名古屋大学)
特別講演	17:30-18:30	27 注意と魅力 河原 純一郎 (中京大学)

懇親会 19:00-

11
Mon.

物体認知と注意	09:15-09:45	7 色および形類似性に基づく空間選択 竹谷 隆司・河西 哲子 (北海道大学)
	09:45-10:15	8 系列の潜在学習における課題依存性 樋口 洋子・上田 祥行 (京都大学)・小川 洋和 (関西学院大学)・齋木 潤 (京都大学)
	10:15-10:45	9 断片化した輪郭におけるオブジェクトの検出とカテゴリー判断の比較 谷口 康祐・田山 忠行 (北海道大学)・Sven Panis・Johan Wagemans (University of Leuven)
文字・単語	11:00-11:30	10 高速提示下における文字列特異的なERP反応 奥村 安寿子・河西 哲子・室橋 春光 (北海道大学)
	11:30-12:00	11 単語共感色を決定する複数の脳神経メカニズム 横山 武昌・野口 泰基 (神戸大学)・古賀 裕紀・齋木 潤 (京都大学)・柿木 隆介 (生理学研究所)・喜多 伸一 (神戸大学)
	12:00-12:30	12 色字共感者と非共感者の連続性 浅野 倫子 (慶應義塾大学)・横澤 一彦 (東京大学)

昼食(各自)・運営委員会

視覚的注意(1)	14:00-14:30	13 視覚的印付けが雑音内の信号検出に及ぼす影響 大杉 尚之・村上 郁也 (東京大学)
	14:30-15:00	14 系列手がかりを用いた視覚性ワーキングメモリの保持柔軟性に関する検討 李 琦・齋木 潤 (京都大学)
	15:00-15:30	15 誤結合錯視による視覚探索の妨害 野口 泰基・鈴木 恵美 (神戸大学)・Todd Horowitz・Jeremy Wolfe (Harvard Medical School)
身体と認知	15:45-16:15	16 風刺激を用いた幽体離脱感覚の生起に関する検討 金谷 翔子・横澤 一彦 (東京大学)
	16:15-16:45	17 タイピストの脆弱なキーボードレイアウトの記憶表象 芦高 勇氣・嶋田 博行 (神戸大学)
	16:45-17:15	18 "Absent-mindedness" に影響を与える要因: 振動ばく露環境下での検討 石松 一真 (滋慶医療科学大学院大学)・Anders Meland・Tor Are S. Hansen・Jan Ivar Kåsin・Anthony S. Wagstaff (Institute of Aviation Medicine, Oslo)
情動と注意	17:30-18:00	19 怒り表情の探索優位性の背景要因 松本 絵理子 (神戸大学)
	18:00-18:30	20 脅威刺激に類似した物体は注意の解放の遅延を生じさせる 井上 和哉 (関西学院大学)・菊地 正 (筑波大学)

夕食(各自)

12
Tue.

日常的認知	09:15-09:45	21 マジック動画の反復観察における注視点分布の分析 正田 真利恵・横澤 一彦 (東京大学)
	09:45-10:15	22 文化特有の風景は文化特有の注意プロセスを産出する 上田 祥行 (京都大学)・小宮 あすか (神戸大学)
	10:15-10:45	23 スピード線がもたらす主観的な速さ感覚の規定要因 林 聖将・松田 剛・玉宮 義之・開 一夫 (東京大学)
視覚的注意(2)	11:00-11:30	24 視覚的注意における分節化と群化の役割 — 一事象関連電位を用いた検討 — 李 旻昊・河西 哲子 (北海道大学)
	11:30-12:00	25 視覚的注意における“希釈”の評価 川島 朋也・松本 絵理子 (神戸大学)
	12:00-12:30	26 トップダウンの注意がワーキングメモリ表象の精度に与える効果 津田 裕之・齋木 潤 (京都大学)

日本心理学会「注意と認知」研究会 第11回合宿研究会 参加者の皆様へのご案内

○研究会日時および会場へのアクセス

日時：2013年3月10日（日）～12日（火）

会場・宿泊：ホテルサンルートプラザ名古屋 <http://www.sunroute-nagoya.co.jp/>

JR名古屋駅桜通口から北へ徒歩5分（名古屋駅中央郵便局の斜め向かい）

○受付及びチェックインについて

初日の参加受付は13:00～です。2階の研究会受付にて、各部屋の鍵をお渡しします。

*ホテルフロントでのチェックイン手続きは不要です。

○合宿研究会参加費

参加費には宿泊費、セミナー室使用料金、朝食2回、および10日夜の懇親会費を含みます。

参加費は有職者30,000円程度、学生21,000円程度です（最終日に確定します）。

ご希望の方には領収書を発行します（宿泊費・食費とそれ以外を分けた発行も可能）ので、あらかじめ合宿担当に知らせ下さい。

○夕食について

- ・1日目（3月10日）

19時からホテル内で懇親会（立食形式）を行います。

- ・2日目（3月11日）

19時からホテル近くのお店（ほっこりルーセント）を予約してあります。

<http://r.gnavi.co.jp/n038625/>

参加される方は18時50分にホテル1階ロビーに集合して下さい。

○予稿集

研究発表の予稿集が研究会ホームページでご覧になれます。

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/AandC/>

の左メニューから、研究会資料2013年のリンクをたどって下さい。

なお、合宿では予稿集の配布は行いません。必要な方は予めダウンロード・印刷の上、お持ちいただきますようお願いいたします。

○発表用の機材・資料について

液晶プロジェクター、レーザーポインターをご用意いたします。予稿集とは別に資料を配布される場合は、参加者人数相当分（40名分）をご用意下さい。

○インターネット接続について

会場（2階「葵」）・客室ともにホテル提供の無線LAN環境を利用可能です。

接続方法は初日の発表開始前に説明いたします。

○会場での駐車場使用について

会場のホテルには立体駐車場があります。参加者の方は無料で利用できます。

車体サイズ制限：高さ1.58m以下、幅1.85m以下、長さ5.05m以下、重量1.6t以下

○運営委員会

2日目（3月11日）の昼食時に運営委員会を開催します。運営委員の皆さんは会場にご参集ください。

合宿担当：新美亮輔（東京大学）、西村聡生（上智大学）